

タイトル A S Tとの連携による融資伸長の取組

J A 名 会津みどり

1 動機 (経緯)	近年、農業者の高齢化、新規就農者の減少、地域農業の担い手不足による農業生産力の低下が続いており、地域農業の維持発展、農家所得向上が喫緊の課題となっています。これらの問題に対処するべく、農業生産法人や中核的担い手農家を中心とした地域農業者との結び付きを強化する観点から農業支援対策室担い手訪問チーム(A S T)を平成22年に立ち上げました。
2 概要	農業法人を含む担い手農家120先を選定のうえ、A S T 3名が継続的な訪問活動を展開し、担い手の様々な問題解決に取り組んでいます。中でも、資金の相談については金融部署とA S Tが連携し、担い手農家への同行訪問や情報の共有化を積極的に行っています。また、状況に合わせて支店の融資担当者との資金対応の協議も適宜実施しています。A S Tの継続した担い手訪問活動により、地元農業生産法人との関係構築が図られた結果、事業規模の拡大を目的とした、土地取得、施設建設の資金ニーズを入手し対応しました。
3 成果 (効果)	A S Tが入手した情報により、すぐに金融部署が同行訪問。資金ニーズに対し最適な提案を行った結果、工場跡地の取得および米乾燥調製施設・農機具格納庫建設に必要な総額1,900万円についてアグリマイティ資金にて対応することができました。金融担当部署とA S Tが連携した迅速な資金対応により、農業生産法人の事業拡大ニーズに応えることができ、中長期的にはJ Aの販売事業の取扱高拡大も期待できます。
4 今後の 予定(課題)	金融担当部署とA S Tとの一体型金融支援により、担い手農家の資金繰りの問題、厳しい経営状況にある農家に対する再生再建への取組みに注力していく必要があります。また、農機販売部署との連携による農機具ローンの推進にも継続して取り組んでいきたいと考えています。